



写真：門川中学校新校舎



議会だより かどがわ

6月定例会 …… 2p

総括意見 …… 3p

職員不祥事問題で申し入れ

視察調査報告 …… 4p

一般質問 …… 7p



平成17年7月
NO. 103

一般会計補正予算

1億323万2千円可決

6月定例議会

今回の補正は、一般会計では1億323万2千円を追加し、予算総額を60億5,123万2千円とするものであり、老人保健特別会計では6,283万円を追加し、予算総額を19億1,090万3千円とするものであります。

平成17年第2回定例会は、6月8日から15日までの8日間。今会議においては、承認1件、条例6件、補正2件、陳情等2件が審議され、それぞれ承認、可決されました。

今回の議会においては、全ての議案を全議員で勉強会を行い、各常任委員会付託を省略して、本会議において可決されました。6月9日の一般質問では、5名の議員が登壇し、町政運営について論戦を行いました。



築37年目の大規模改修予定の中央保育所



一般会計では今回の補正により

歳入歳出それぞれ、60億5,123万2千円、前年（70億950万5千円）。

歳入では

・ 県支出金	1,237万8千円
・ 財産収入	144万円
・ 繰入金	4,766万4千円
・ 繰収入	245万円
・ 町債	3,930万円

歳出の主な事業については

・ 中央保育所大規模改修事業	3,530万6千円
・ 波型漁礁設置事業	1,014万円
・ カムリウミスズメ保護事業	292万4千円
・ 淀原地区治山事業	945万円
・ 地域省エネルギービジョン策定事業	349万7千円

等が主なものであります。

平成16年度一般会計歳入歳出の予算総額は76億5,750万円となりました。

補正予算の内容は、歳入で地方消費税交付金1,700万円、特別交付税8,900万円等の合計1億1,750万円を追加補正。

歳出については、財政調整基金に1億円、公共施設等整備基金に1億4,000万円を積立金として追加し、予備費1億2,250万円を減額補正した、今後配慮した補正になっています。



カムリウミスズメ

総括意見

今議会は、昨年の同定例会に比較して日程では3日間短縮し、特に委員会付託を省略して、全員による勉強会を行う初の試みでありました。

勉強会では、補正予算は財政課より、町税条例の改正については税務課から説明を受けました。補正の主なものは、東九州自動車道関連事業・下水路事業・道路事業・森林事業等で、新規事業は、家庭教育支援事業等であります。（2P記載は省略）

執行より報告

16年度継続費繰越計算書、16年度繰越明許費繰越計算書、土地開発公社、ふるさと文化財団事業について。

条例改正は町税条例や農業委員の定数に係る改正等であります。

議会は、道路財源制度に関する意見書を決議、青少年の健全育成に関する陳情は、文教委員会に付託しました。

町税条例の改正は国の決定に伴うものであるものの、65才以上の高齢者控除を年次のことなくし又一律減税を半分に

り組みを執行に望む次第であります。

個別意見

○国会では郵政民営化の風・衆議院通過！

○門川町でもクールビズの検討。賛否両論

勉強会の様子



職員不祥事問題について

町長に申し入れ!!

〔申し入れ事項〕

- 一、厳正公平な処分を行うこと。
- 一、管理体制のチェック機能を強化すること。
- 一、臨時議会を早急に開催すること。

去る、6月30日、緊急招集を受け、全員協議会が開かれました。町長より職員3名の不祥事について詳しい報告がありました。その後、事の重大さを認識し討議を致しました。

その結果、翌7月1日、早急な対策を取るよう、町長に申し入れを致しました。



視察調査報告

総務財政常任委員会

去る5月中旬静岡県相良町、長野県箕輪町の視察調査を行いました。相良町につきましては、海に面した地域の地震・津波による防災対策、防災行政無線による情報・伝達の仕組み、行政としての対応と予算措置等々についての調査、箕輪町については「管理型」から「経営型」への転換を図っている行政改革の取り組みについての調査でした。

まず相良町ですが人口26,545人・75.59世帯・面積58km²、職員数227名の町です。津波による被害は戦前の被害が記されているだけで、昭和37年7月に台風による多大な被害を

概ね町全域をカバーできる手段として整備がされてきました。又、行政としての予算対応として自主防災組織に緊急資材整備事業費や、防災訓練事業補助金等それぞれの措置が取られました。今後の課題としては①海水浴場等の出入口に設けてある大型陸間の自動閉鎖化②小河口、排水路の河口にフラップゲートの未設置が多数残っている為その解消を図る、等が上げられています。

隣市町村との合併を模索し、平成15年1月に任意合併協議会を設立しました。合併しない場合には財政的に箕輪町が将来的にどのようなものか、任意合併協議会の合併をした場合の資料と比較できる資料を作成し、2通りの資料で住民説明会を開催したとのことでした。しかし、11月に住民投票を実施し、多数により同月任意合併協議会において離脱を表明し自立の道を選択したというのであります。

次に財政改革についてですが、平成15年10月には収入役を廃止し行政改革推進担当助役を設置、行政運営において「管理型」から「経営型」への転換を図っていました。住民のために変革できる自治体経営の確立を目指して平成17年度から21年度にかけての行政経営計画を策

定し、行政経営の基本理念に役場職員が共有すべきこととして、役場の使命、将来像、スローガン、自らの行動指針を定めておりました。そして、この行政経営計画の目標である「住民のために変革できる自治体経営の確立」のため、戦略テーマを掲げ、さらにそれぞれの戦略テーマに実施して行く推進項目並びに取組事項を明確にしてその取組事項に「戦略プロジェクト」を位置付け、住みよいまちづくりの諸施策を実行できる経営体質への転換を図っております。

また、従来の行政改革大綱では、「定数削減」「組織改革」「経費削減」のいわゆる3点セットのいわゆる3点セットを行うことにとどまらず、行政改革とは、職員の意識改革を行いつつ、行政のシステム(仕組み)そのものを変え、恒常的に機能して行く仕組みを構築していくことであると考えます。

文教厚生常任委員会

去る5月18日から20日の3日間の日程で、愛知県東浦町及び三重県桑名市の「健康づくり」特に高齢者の健康増進施設や食生活の改善による健康増進活動の推進状況について、先進地の視察調査を行いました。

まず、愛知県が知多半島北東部にある東浦町に健康で生きがいな暮らしを社会の実現を目指し、保険・医療・福祉・生きがいを推進する総合施設「あいち健康の森」の整備を進め、「その中心施設として」「あいち健康プラザ」を平成9年4月にオープンし、財団法人愛知県健康づくり進行事業団が委託を受け管理運営しています。「あいち健康プラザ」は、健康開発



健康開発館のプール

館・健康科学館・健康情報館・健康宿泊館の4館から成る複合施設で、最新設備を備え、健康づくりの動機づけから実践情報発信まで、総合的な活動を展開して

います。それに加えて指導者の養成、さまざまな研究・開発・技術交流や支援など多様な機能を果たしています。また、天然温泉や宿泊施設があり、一

般利用客のほか、健康づくり教室の滞在型コースでの宿泊など、幅広く利用されています。次に、三重県桑名市中央保健センターで実践・活動を行っている「健康を支える食生活事業」についての調査を報告します。



調査風景

食生活ありのままに映し出し生活習慣の誤りがどこにあるのかを客観的にチェックし評価する食生活分析により、会の名称を「ミラーの会」と名づけています。また、活動については年次ごとに対象者を拡大して、「正しい食生活」の啓発を図り、住民が早期から自分の健康を管理し、主体的に地域の健康推進を行っています。所感として、今回の健康づくりの視察調査を行って感じたことは、健康づくりの基本です。今後、健康で生きがいな暮らしを送るためにも、町が進める「やっちみろや健康づくりプラン21」は長寿社会の実現に向けて重要な課題となつてくると思えます。町民の皆さんに健康意識の高揚を図るために、出来ることからやり、更なる啓発活動の推進を図ることが必要と思えます。

一般質問

5名の議員が登壇!



国保の一部負担金を減免できないか

浜口 惇

町長：公平、平等を踏まえ検討

問 国民健康保険の一部負担金の減免の要綱をつくるべきでないか。

町長 国保の規程に基づく「給付の一部負担金の減免」については、県内のほとんどの市町村において、規則等の整備がなされていない状況であり、一部負担金の減免の実施はしてないようであります。県内市町村の動向や、財政又は公平平等を慎重に検討していきたい。



産業建設常任委員会

去る、平成17年5月17日から19日に岐阜県美濃市及び愛知県吉良町の視察調査を行いました。

岐阜県美濃市の岐阜県立森林文化アカデミーについては、これからの森林問題、人材育成を目的に調査いたしました。6万3,534・1㎡の敷地に、宿泊エリア、生涯学習部門、短期技能研修部門、専修教育・学習部門の四種のゾーンからなり、設立資金のほとんどは、林野庁の補助金です。文部科学省の学校の制約を受けないので、教育方針やカリキュラムを学校独自で組むことができる地方自治型の開かれた自由な学校であるというところでした。学生の年齢層も幅広く、18歳から60

歳の学生が学び二つのクラスで40名の学生が二年間の履修において高度な知識と技術を身につけ、設計事務所やNPO法人設立などの起業する人を含め、就職率は100%であるとのことでした。

本町においてもこのような教育機関を幅広く紹介し、次の林業の担い手としての人材育成を考えなければならぬと思います。

次に、愛知県吉良町の農事法人組合についてです。吉良町の農家戸数は1,333戸で、耕地面積、農家数とも年々減少しているとのことであり、農業粗生産額は約7億7千万円だということでした。当営農組合は、水稲、麦、大豆の作付けを行い、そのほか耕起、代掻き、田植え、収穫などの部分作業の受託が延べ115ヘクタールとなっており、2年ごとのブロックローテーション（水稲と麦・大豆）で、作付けを実施しているとのこと。組合の構成員は、理事4名と職員3名の7名で平等に責任を担っている。それぞれが担当している圃場ごとに管理者成績表をつくり、圃場の番号、面積、栽培品種や品質（重量や整粒歩合）などの情報を管理しているとのことでした。

託圃場の面的集積「労働時間1800、時間を目標として、週休2日間を導入しゆとりある農業経営を実現する」の3点を取り組む課題としていました。以上のように、域内の大半を受託することになったのは、長い歴史の積み重ねは当然として、行政、JAなど関係機関、各種協議会等の積極的な取り組みが功を奏した結果だと痛感いたしました。また、近隣には数多くの会社があり、当地の後継者といわれる人達ほとんどが勤めをされている特殊事情もあるとのことでした。



視察の様子



が心配されます。本町においても、関係機関、各種協議会、団体等一体となつて、経営能力を有する担い手の育成や集落営農組織の推進を強力に進めていくことが必要と思っております。



企業誘致の取り組みについて

安田 修

町長：積極的に取り組む

問 道路網の整備が進む中で、自主財源確保の上でも、企業の積極的な誘致活動をすべく、プロジェクトチームを編成しては。

町長 本町の財政事情も国の三位一体の改革に伴い、地方交付税の削減、国庫負担金制度の見直し等大変厳しい状況にある。自主財源確保の観点からも、今後、本町における企業誘致の第二弾として、積極的に展開していく必要があると認識している。

問 学校給食用食器の改善について、給食用の食器で、まだ旧態依然のものも見受けられる。

教育の面からも、又教材の一貫としてからも、食器に町の花や町木、名勝乙島やピロウ島、そこに生息するカラムリウミスズメなどデザイン化した食器を使用すれば食に対しての楽しみと、動植物に対する親しみ、又ふるさとを思う心の教育にもつながるのでは。

教育長 現在使用しているアルマイト食器については、特に変形しているものや痛んだものについては順次買い足し、補充を行っている。器の素材や形、大きさなどを変えらるとなると相額の経費を要することから、今後、財政計画などを十分考慮しながら関係者と話し合いを進めて行きたい。

公共下水道事業から浄化槽市町村整備事業へ転換を

黒木 裕



町長：市町村実態を調査研究・検討

問 町報5月号に掲載の行財政の運営に関する「合併処理浄化槽の普及を進めながら、公共下水道事業の経済的・効率的な方法の研究を行う」についてだが、財政面からみて、合併処理浄化槽の普及に絞り込み、浄化槽市町村整備事業に取り組んだ方が得策ではないのか。

町長 公共下水道、合併処理浄化槽ともにメリット・デメリットがあるが、いざ情にしてみても、政事情などを踏まえ、双方の先進地

視察、及び市町村の実態調査を含め、さらに調査研究を重ね検討していきたい。

問 行財政の運営についての中の「次代を担う子ども達のため教育施設充実を図ります」について①具体的な内容を明確にして欲しい②観覧席のある総合体育館建設について③西門川活性化センターグラウンドの充実化について。

町長 ①現在、門川中学校の校舍改築事業が行っているが、さらに体育館改築計画、及び各小、中学校の教室に年次的に扇風機を設置を行うなど予算の範囲内で施設の充実を図っていきたい。②相当の事業費を要するし、多くの課題があるので早急に対応することは困難。当面は門川中学校体育館をより充実した地域住民の体育、スポーツの振興にも十分対応できるように配慮しながら検討する。③限られた敷地面積なのでグラウンドの充実等の整備は困難である。

県道土々呂日向線の信号機設置について

内山田 善信

町長：再度、当局に強く要望したい



問 県道土々呂日向線は、大池トンネルの開通により便利になり、交通量が非常に増えてきた。今後ますます交通量が増えることは間違いないでしょう。またこの道路は小学校中学校の通学路となっており、特に、加草の中村入口の交差点付近は車のスピードが出やすいところで登下校時間は大変危険です。一日も早く信号機の設置をされるよう当局により強く働きかけるべきでは。

町長 現在まで機会あるごとに日向警察署に強く働きかけました。平成16年度、宮崎県内に信号機の設置要望箇所が358箇所あり、日向署管内では45箇所の要望があるが一箇所も設置されていないのが現状です。

町長 昨年度は台風災害もあり、17地区より23灯の要望があり事業費の70%、54万円を補助いたしました。集落間道路や、県道や幹線道路の町管理の防犯灯は現在292灯あり、今後も年次的に設置していく計画です。

町長 県道や地区の境、人家の少ないところには防犯灯の整備が十分でなく、特に中高生や女性にとつて夜間は不安なところ。昨年度は地区管理の防犯灯は何件設置されたのかまた、町管理の防犯灯の設置場所の選定方法は、そして今後の設置予定は。

町への教職員の確保の検討と努力は

平田 真文



教育長：県への働きかけ、本町での研修で対応

問 以前に質問した教職員の確保はどのように検討と努力をされているか。

教育長 様々な研修により資質の向上と指導力アップを目指している。今後とも学力評価システムの導入や更なる研修により対応し、県への要望も続けていきます。

あり、町としての対策と検討はどうなっているのか。

町長 悪臭緩和剤の導入、夏場の鶏舎施設内の消臭剤散布などの対策の実施を関係機関と申し

合わせたところ。更に、良い解決方法はないか模索中です。町としても関係機関と協議を行い検討し、できる限りの対応をしていきたいと思っています。

問 臭い公害について

昨年、臭い公害（ブロイラー鶏フンによる）一般質問があったが、依然として臭い公害が



ブロイラーの様子

条例改正・推薦・陳情・意見書

門川町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例 (原案可決)

門川町税条例の一部を改正する条例 (原案可決)

改正内容

1. 個人住民税及び定率減税の見直し
2. 給与支払報告書の提出範囲の拡大
3. 被災住宅用地の特例措置の延長
4. 肉用牛売却における事業所得の特例の延長
5. 特別土地保有税の徴収猶予期間の見直し
6. 個人投資家に対する金融及び証券税制の見直し

門川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (原案可決)

門川町農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例 (原案可決)

門川町監査委員条例の一部を改正する条例 (原案可決)

門川町議会委員会条例の一部を改正する条例 (原案可決)

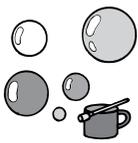
推薦

門川町農業委員会委員を推薦
次の二名を、議

陳情・意見書

「青少年の健全育成に関する基本法」の制定を求める意見書提出についての陳情書
文教厚生常任委員会・付託

道路特定財源制度に関する意見書
採択・意見書提出





新しく開通した広域農道（塩見～小園間）



金磯からのぞむ門川湾



休止になったカーフェリー

議会のうごき

- 4月
- 1日(金) 宮崎県公立小・中学校新規採用職員辞令交付式
 - 5日(火) 門川町立小・中学校転入教職員着任式
 - 7日(水) 中学校入学式
 - 8日(木) 小学校入学式
 - 23日(土) 国道10号延岡道路(延岡～延岡南)及び県道延岡インター線開通式典
- 5月
- 20日(金) 九州横断自動車道延岡線建設促進沿線議会期成会理事會
 - 21日(土) 第59回県民体育大会
 - 27日(金) 九州横断自動車道延岡線建設促進沿線議会期成会熊本・宮崎両県合同理事會
- 6月
- 1日(水) 議会運営委員会
 - 3日(金) 国道380号(門川町～椎葉村間)整備促進期成会同盟会総会
 - 8日(水) 本会議(開会日)
 - 9日(木) 本会議(一般質問)
 - 14日(火) 議会運営委員会
 - 15日(水) 本会議(最終日)
 - 22日(水) 文教厚生常任委員会

編集後記

暑中御見舞
申し上げます

議員一同

◆いよいよ暑い夏がやって来ましたが、梅雨の初めから雨不足で、最近の気候は異常が当たり前になっています。困りものです。(内)

◆行政視察調査で県外に行きますと、門川町の良い所を感じます。時には外から見るのも良いことではないでしょうか。(黒)

◆海や山に行きたい季節になりました。これから暑い日が続きますが町民の皆様には体調管理に十分気をつけてください。(小)

◆皆さんにわかりやすくとは思っていますが、今回も自分が書いて自分で納得しています。(米)